



学校だより

2025年度7月号
藤沢市立大越小学校
校長 丸谷 英之

教育目標 心豊かで思いやりがあり、たくましく生きる児童の育成

夏の日差しがまぶしい季節となりました。子どもたちは汗を光らせながらも、元気いっぱい毎日過ごしています。

さて、今月の授業参観には、多くの保護者のみなさまにご来校いただきました。子どもたちの一生懸命な姿を見てくださったこと、ありがとうございます。挙手して発言する姿、自分の考えをもって活動する姿、友達と協力する姿など、素敵な姿がたくさんありました。ぜひその姿を褒めてあげてください。

1学期も残りわずかとなり、それぞれの学年で学習や行事のまとめの時期に入っています。入学・進級からの3か月あまりで、子どもたちは心も体も大きく成長しました。大きな事故やけがなく、安全に1学期を締めくくれるよう、学校でも引き続き見守ってまいります。

ご家庭でも、お子さんのがんばりをぜひたくさん認めてあげてください。そして、夏休みに向けて、生活リズムや体調管理についてもご協力をお願いいたします。

■ 6月26～27日 5年ハケ岳野外体験教室

■ 7/3 6年東京見学



■ 7月4日、8日 授業参観（左から1年、3年、6年）



■ 6月～7月 水泳学習

■ おっこし広場（1年生とおっこし級の交流会）

■ 6年 租税教室



■7/4 環境整備委員 草取り大会



■4年 実習生との1ヶ月



■7/9 おっこし級地域交流



■2年とうもろこし皮むき



■7/9 5年着衣泳



◇運動会について

11月1日（土）、昨年度同様午前開催で計画を進めているところです（雨天順延）。赤・白2チームに分け実施する予定です。詳細は9月にお知らせいたします。

◇神奈川新聞「教室へ行こう」掲載のご案内

神奈川新聞教育面のコラム「教室へ行こう」では、県内の学校で、子どもたちが生き生きと学んでいる授業の様子が週1回掲載されています。6月に2年1組白澤級が取材を受け、8月11日（月）に授業の様子が掲載されることになりました。子どもたちの学びの様子をぜひご覧ください。（HP「カナロコ」にも掲載予定）

◇湘南三浦地区PTAわくわく研修会（県立総合教育センター）の様子

7/10（木）に、本校PTAが昨年度県の表彰を受けた取組について、発信の場がありました。湘南三浦地区を代表し、3名の保護者が登壇して学校での取組の様子紹介やトークセッションする研修会です。

本校からは、登壇してくださった前PTA会長の萩原さんが、「ラインワークスの活用」「ポイント制の導入」など、資料を提示しながら情報提供していただきました。働く世代がPTAに所属する状況下、会員相互

の和を保ち、子どもたちのために無理なく力を合わせる環境づくりとしての改革。

会場には、前年度本部役員の小山さん、舟根さん、現会長の石井さんが駆けつけ、トークセッションだけではなく、その後の分散会でも、みなさんがチーム大越として取組を発信されました。



◇ 7月朝会より 「心を一つに、限界突破！」

7月の朝会では、運営委員会より大越のスローガン「心を一つに、限界突破！」が発表されました。「555人の大越の一人一人が、気持ちを一つに進んでいく。そして、自分自身の力を思い切り出し切って、一緒に成長していく。」そんな素敵なスローガンを紹介してくれました。

保健委員会からは、「ろうかを走らないこと」「(校庭の)丸太で注意すること」など、みんなが安全に気持ちよく生活していくためのルールについて、演技を披露しながら分かりやすい発表がありました。

高学年として、「どうしたら学校生活がより良いものとなるか」仲間と知恵を出し合い、それを伝えていく・・・大越の子どもたち、さすがだなと思いました。

校長の話(概要) 「言えよ！おまえが困ってるなら、オレが助けてやる！」

前は、発明家エジソンを例に、「あきらめないこと」について話しました。

今回は、アニメ「ドラえもん」の登場人物「ジャイアン(特に映画のジャイアン)」を例に、本当の「やさしさ」「つよさ(たくましさ)」について一緒に考えました。

◇ジャイアンのやさしい一面◇

☆「言えよ！おまえが困ってるなら、オレが助けてやる！」

☆大ピンチの時、恐ろしい敵や動物を前に、ドラえもんやのび太が怖がっていることに気づくと、ジャイアン自身も怖くて足が震えているのに、勇気を振り絞って敵に立ち向かったり、自分がおとりになって、そのすきに、のび太たちが逃げることができるようにしたりもする

力が強いとか、走るのが速いとか、そういうことだけじゃなくて、困っている友だちを見たときに、声をかけられる勇気。誰かの立場になって考えられるやさしさ。

そんな「心の強さ(たくましさ)」を持った人になってほしいなと校長先生は願っています。誰の心の中にも、こんなすてきな「ジャイアンぽい」部分があります。ただ、大事なのはどう変わっていくか、どうやってやさしさを見せていくか、行動にうつせるかです。

◇教育文化講演会のご案内



藤沢市教育文化センター 教育文化講演会 どの子ども安心していられる学校づくり ～保護者・地域・教職員、「大人のチーム力」で学校をつくる～

いま、子どもを取り巻く環境は、学校においても、家庭・地域においても「人に迷惑をかけてはいけない」という声かけのもと、失敗することも、やり直しをすることもできないなんてことはありませんか。

「迷惑な子」なんて一人もいません。子どもの声を聴きながら、「大人のチーム力」でどの子ども安心していられる学校、そして、家庭・地域になるためにできることについてご講演いただきます。

【講師】
木村 泰子 氏

木村先生は、2006年に開校した大阪市立太空小学校初代校長として9年間務められ、「みんながつくるみんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを各方面からみつけ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注がれました。現在は、全国各地で講演活動をされています。

と き 8月25日(月) 14:00～16:00
(入場無料 手話通訳有)
ところ Fプレイス(藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設)ホール
定 員 300人 ※定員になり次第申込みは終了させていただきます。
申込方法 二次元コードもしくは電話
申込み 7月15日(火)～25日(金)
申込フォーム(二次元コード)より
電話 Tel (50) 8300
受付 平日 8:30～17:00



◇夏期業務停止期間

8月11日(月)～15日(金)は、日直等を置かずに、学校として教育活動及び対外的な業務等を行わない「学校業務停止期間」です。

ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

◇ 「通知表」について



- 全学年、各教科において「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について評価したものを記載（1・2年は2段階評価、3～6年は3段階評価）
- 「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間（3～6年）は年度末（3月末）に記述評価。「外国語活動（3・4年）」は学期ごとに記述評価
- 「学校の様子」には、「よい点や可能性、進歩の状況、努力や工夫など」を記述

3 観点について

知識・技能

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。実際に知識や技能を用いる場面を設けること（文章での説明、観察・実験、式やグラフでの表現等）やテスト（事実的な知識の習得を問う問題や知識の概念的な理解を問う問題等）により評価します。

思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために 必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。テスト（問題解決に係る内容等）のみならず、論述やレポート作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動から評価します。

主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。



「できた」については十分認め、「もう少し」については励ましてやる。それが子どもたちの次の成長へとつながっていくものと思います。

前学年の時に書けなかった漢字が書けるようになる。できなかった計算ができるようになる。生き物をかわいがるようになる。水を怖がらなくなる。逆上がりができた。発表がじょうずになった。友達が増える。定規を上手に使って線を引けるようになる。これらは確かに子どもたちの成長です。

子どもたちは一人一人違う成長の仕方をしてきます。同じ子など一人としていません。ですから、子どもたちの成長を認め、次につなげていきたいと考えます。

エネルギーに満ちあふれた夏。太陽の光を一杯に浴び、一人一人、自分の色で光ってください。子どもたちにとって素晴らしい夏休みになることを祈っております。